

台東区道路愛称名の由来

番号	愛称名	由来
1	すえひろれんがどおり すえひろレンガ通り	沿道の末広商店街と道路の舗装がレンガ色なことから
2	なかかちいちどおり 仲徒一通り	仲御徒町1丁目町会に因んで
3	ことぶきこどもえんどおり ことぶきこども園通り	沿道に「ことぶきこども園」が立地していることから
4	あさひかいどおり アサヒ会通り	アサヒ会商店街に因んで
5	くらまえしょうがっこうどおり 蔵前小学校通り	沿道に蔵前小学校が立地していることから
6	さんけいどおり 三桂通り	旧町名の三筋町、桂町に因んで
7	いっぷくよこちょう いっぷく横丁	地元の人や観光客が訪れ、ほっと一息入れる小さな飲食店が多いため
8	しんそどおり 親疎通り	言問通りから南100m幅が強制疎開の対象とされた。疎開という言葉をおぼれず、後世に伝えるため
9	こまちゆうどおり 駒中通り	沿道に駒形中学校が立地していることから
10	とりこえみょうじんどおり 鳥越明神通り	沿道に鳥越神社（鳥越明神）が立地していることから
11	おくらまえどおり 御蔵前通り	江戸時代に幕府の御蔵（米蔵）があったことから
12	せんりゆうよこちょう 川柳横丁	沿道の龍宝寺に、川柳の始祖である柄井川柳の墓があることから
13	えめらるどあべにゅー エメラルドアベニュー	御徒町の来街者への利便性向上等のため
14	ひすいあべにゅー ひすいアベニュー	御徒町の来街者への利便性向上等のため
15	だいまもんどあべにゅー ダイヤモンドアベニュー	御徒町の来街者への利便性向上等のため

番号	愛称名	由来
16	さんごすとりーと 珊瑚ストリート	御徒町の来街者への利便性向上等のため
17	るびーすとりーと ルビーストリート	御徒町の来街者への利便性向上等のため
18	さふあいやすとりーと サファイヤストリート	御徒町の来街者への利便性向上等のため
19	すみちょうどおり 角町通り	旧町名である「角町」に因んで
20	なかのちょうどおり 仲之町通り	吉原のメインストリートの「仲之町」に因んで
21	えどちょうどおり 江戸町通り	旧町名である「江戸町」に因んで
22	あげやどおり 揚屋通り	旧町名である「揚屋町」に因んで
23	きょうまちどおり 京町通り	旧町名である「京町」に因んで
24	ふくいちょうどおり 福井町通り	旧町名の「福井町」に因んで
25	かみなりもんいちのみやどおり 雷門一之宮通り	商店会名に因んで
26	せいかどおり 精華通り	精華小学校の名前を精華公園とともに未永く残すため
27	たまひめいなりじんじゃどおり 玉姫稻荷神社通り	沿道に玉姫稻荷神社が立地していることから
28	きよかわぶんしつどおり 清川分室通り	沿道に北部区民事務所清川分室が立地していることから
29	いちようぎくら・こうげつどおり 一葉桜・光月通り	街路樹の桜（一葉桜）と光月町会に因んで
30	すけろくゆめどおり 助六夢通り	歌舞伎の演目「助六由縁江戸桜（すけろくゆかりのえどぎくら）」の花川戸助六に因んで

番号	愛称名	由来
31	ろっくよこちょう 六区横丁	浅草公園六区に因んで
32	くらまえじんじゃどおり 蔵前神社通り	沿道に蔵前神社が立地していることから
33	やなぎばしちゅうおうどおり 柳橋中央通り	柳橋1丁目と2丁目の中央にあることに因んで
34	やなぎばししのづかどおり 柳橋篠塚通り	沿道に篠塚稲荷神社が立地していることから
35	やなぎばしおおかわばたどおり 柳橋大川端通り	江戸時代、神田川が隅田川に注ぐ柳橋界隈が「大川端」と呼ばれていたことから
36	やなぎばしさくらきたどおり 柳橋桜北通り	街路樹の桜（アーコレード）に因んで
37	やなぎばしさくらみなみどおり 柳橋桜南通り	街路樹の桜（アーコレード）に因んで
38	おかずよこちょう おかず横丁	周辺に町工場が多く、共働きの家庭では、この横丁で「おかず」を買い求めていたことから
39	まごぞうどおり 孫三通り	沿道に孫三稲荷が立地していることから
40	きねやどおり 杵屋通り	周辺に長唄や三味線などの「杵屋」を名乗る師匠が多く住んでいたことに因んで
41	ねぎしやなぎどおり 根岸柳通り	沿道の両側に植えられた柳の木に因んで
42	しのぶしょうどおり 忍小通り	沿道に忍岡小学校が立地していることから
43	あさくさこうふくいなりどおり あさくさ幸福稲荷通り	沿道に幸福稲荷大明神が立地していることから
44	がくもんのみち 学問のみち	J R御徒町駅を起点とし、湯島天神まで一本道でつながっていることから
45	やなかきってどおり 谷中キッテ通り	多くの人にキッテ（来て）いただきたい。また切手同様、人と人、人と物をつなぐ役割を果たしたいから

番号	愛称名	由来
46	おぎょうのまつどおり 御行の松通り	沿道に、江戸時代から「根岸の大松」と人々から親しまれた「お行の松」があることから
47	あさくらちょうそかんどおり 朝倉彫塑館通り	沿道に国の有形文化財の朝倉彫塑館が立地していることから
48	ろくあみだよこちょう 六阿弥陀横丁	江戸～戦前、江戸六阿弥陀霊場の第五番として知られた「常楽院」の門前通りが同地にあったことから
49	さんまいばしよこちょう 三枚橋横丁	江戸時代、不忍池より忍川が流れており、「三枚橋」という橋梁が架かる通りがあったことから
50	まりしてんよこちょう 摩利支天横丁	沿道に「摩利支天徳大寺」が立地し、現在も同寺への参道となっていることから
51	ろくあみだどおり 六阿弥陀通り	江戸時代に流行した六阿弥陀詣の、四番与楽寺（田端村）～五番常楽院（下谷広小路）の巡回経路の一部であることから
52	しもねぎしちゅうおうどおり 下根岸中央通り	下根岸町（旧町名）区域の中央部に位置する道路であるため
53	いちようきねんかんどおり 一葉記念館通り	沿道に区立一葉記念館が立地していることから
54	ちややまちどおり 茶屋町通り	揚屋通りに続く道として、幕末には多くの引手茶屋が軒を連ねていたことから
55	さるわかかぶきどおり 猿若歌舞伎通り	沿道に江戸末期から明治初期まで、猿若三座（中村座・市村座・森田座<河原崎座>）が並び、歌舞伎の中心地として栄えたことから
56	ひつじみち ひつじみち	午（馬道通り）と申（猿若歌舞伎通り）の間にある道のため
57	いしはまよこづなどおり 石浜横綱通り	沿道にある相撲部屋から横綱が誕生したことから